

## 津波発生時の

## 注意事項



津波警報が出たら、  
ただちに高い場所へ



小さな揺れでも  
油断しない



津波のスピードは  
速いので注意



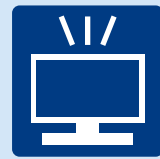
車による避難は、  
原則禁止



繰り返し襲ってくる  
ので注意



テレビ・ラジオなど  
で正しい情報を確認



津波注意報でも、  
海水浴や磯釣り<sup>いそ</sup>りは厳禁



### 津波てんでんこ

「津波てんでんこ」は、それぞれ「津波が来たら、取る物も取り敢えず、肉親にも構わずに、各自てんでんばらばらに一人で高台へと逃げる」「自分の命は自分で守れ」という意味の標語のような言葉で、岩手県大船渡市三陸町綾里出身の日本の津波災害史研究者である山下文男氏の著書や講演活動によって広まり、東北地方太平洋沖地震発生により再認識されました。

# 仙台湾南部海岸

海岸事業や海沿い名所の概要

海にふたたび、  
笑顔と賑わいを。

SENDAI WAN NAMBU KAIGAN



## 仙台湾南部海岸の概要と 海岸事業の現状

仙台湾南部海岸は宮城県仙台市から福島県境までの3市2町にまたがる延長約65kmの海岸で、背後地は商業、工業などの産業の集積も著しく、東北地方の中核拠点となっています。平成12年度から海岸侵食の著しい岩沼市の岩沼海岸、山元町の山元海岸を国土交通省直轄工事区間として海岸保全施設の整備を進めてきました。

平成23年3月11日の地震による津波で仙台湾南部海岸では、全ての区間で津波が海岸堤防を越流し、押し寄せる津波や引き波により、堤防決壊や消波ブロックの飛散、堤防裏法面の流出、背後地盤の洗掘など甚大な被害を受けました。仙台河川国道事務所では、このような未曾有の災害で被災した海岸堤防など、海岸保全施設の復旧を進めています。



進捗状況について

**平成27年度内の完成を目指し進行中!**

H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
応急復旧完了	仙台空港区間等 約5km完成	名取海岸等 約20km完成	整備	備
全体で 約26km完成				

構造上の工夫

**巨大津波による越流でも粘り強い堤防**

- 陸側法尻部の保護（地盤改良による洗掘対策）
- 法尻部強化（法留コンクリートの一体化）
- 陸側法面の補強（かみ合わせ構造）
- 天端被覆工の補強（空気抜き孔等）

堤防盛土

粘り強い堤防の新たな構造

- 堤防が破壊、倒壊するまでの時間を少しでも長くし避難時間を確保
- 堤防が全壊（完全に流出した状態）に至る危険性を低減



明日へつなぐ、海岸事業



# 仙台湾南部海岸 (仙台市) 仙台湾海岸

深沼地区海岸 (深沼北工区) の推移



震災前 (H22.9.29)

震災以前、海岸線に沿って続く平野には田畑が広がっていました。また、海岸公園では美しいマツ林が続く中サイクリングロードや球場などが整備され、多くの人たちに利用されていました。



震災後 (H23.7.6)

津波により、南蒲生浄化センターが被災し、防災保安林も壊滅的被害を受けました。



現在 (H26.11.24)

現在、南蒲生浄化センター、防災保安林とも、復旧に向けて急ピッチで工事が進行しています。



H27.2.3

### 南蒲生浄化センター

南蒲生浄化センターは仙台市の下水の約7割を処理している東北最大の処理場である。2016年3月に災害復旧工事の完成を予定している。



# 仙台湾海岸

## Hot Topics!

### 仙台市地下鉄東西線が、平成27年12月開通!



東西線の整備により、現在1日約16万人の市民に利用されている南北線やJR線とともに、安全性と定時性に優れた環境にやさしい交通ネットワークができます。交通渋滞の緩和はもちろん、市民の行動範囲が広がることで、新たな交流が生まれ、都市文化やビジネスの育成・地域の活性化、また終点となる荒井駅は、仙台東部地域の復興拠点としても大きく期待されます。



仙台市 SENDAI CITY

### 東北地方太平洋沖地震を教訓に計画された、津波避難タワーが完成!



東北地方太平洋沖地震を教訓に、仙台市が宮城野区中野5丁目に建設した津波避難タワーが平成27年2月14日、地元住民に公開されました。市が沿岸部で計画する11カ所の避難施設のうち、最初に完成。鉄骨製で高さ9.9メートル。高さ6.6メートルの2階部分には屋内スペース(100平方メートル)があり、トイレなどの設備を整えた。屋上と合わせて約300人が約24時間避難できるように毛布や非常食、防災行政無線が置かれます。



### 被災地から世界へ発信! 第3回 国連防災世界会議 仙台開催



平成27年3月14日(土)~18日(水)の期間、仙台国際センターを会場に「第3回国連防災世界会議」が開催されました。世界187の国と地域から約6,500名が参加し、仙台・東北で開催される国際会議としては過去最大規模のものとなりました。会議では、2015年~2030年までの国際的な防災の行動指針「仙台防災枠組」と今回の会議の成果をまとめた「仙台宣言」が採択されました。また、一般公開で行われた防災・減災・復興に関するパブリック・フォーラムには延べ15万6千人が来場しました。



### 海の生きものたちの魅力を体感! 仙台港背後地に「仙台うみの杜水族館」平成27年7月オープン!

仙台うみの杜水族館は、水環境をはじめとする自然の再生を見つめ、力強く未来へ向かう東北を示すことにより、訪れる人々に勇気や活力を感じて頂ける施設を目指しています。本水族館では、豊かな日本の海、自然環境を体感できる大水槽や川の水槽をはじめ、生きものを通じて世界との絆を体感出来るゾーン、海の動物たちによる東北最大級のパフォーマンス、ペンギンやアシカ等とのふれあいによる癒し体験など、様々な魅力的なコンテンツを提供していきます。また、本水族館を通して地域活性化、人・まちづくり、地域コミュニティの創出、環境再生・保全、防災に地域協同で取り組みます。



仙台うみの杜水族館 SENDAI UMI-MORI AQUARIUM

ペンギンのモーリー



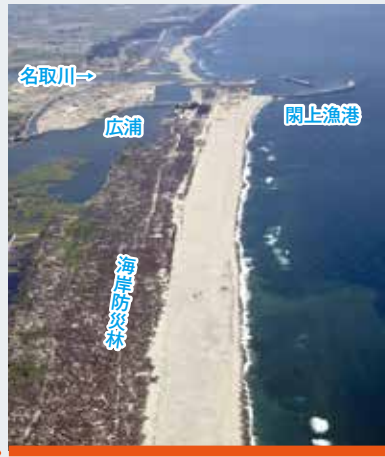
仙台湾南部海岸 (名取市) **名取海岸**

閉上・北釜地区海岸 (閉上北釜工区) の推移



震災前 (H22.9.29)

震災以前、名取川河口付近の広浦・貞山堀等の歴史的景勝地や、閉上漁港、閉上海浜プール、サイクルスポーツセンターなどがあり、人口が集中する賑わいのある地域でした。



震災後 (H23.7.16)

津波により、海岸堤防や海岸防災林は、壊滅的被害を受けました。



現在 (H26.2.23)



完成した海岸堤防

名取海岸堤防復旧工事

仙台空港を始め、背後の集団移転地などを高潮・津波から防護する重要な役割を担う名取海岸約4kmの堤防復旧工事が平成26年3月完成しました。

MAP



名取海岸

閉上・北釜工区 全長≒4km

Hot Topics!

名取市

地域の復興の願いが込められた仮設店舗「閉上さいかい市場」

3月11日、東北地方太平洋沖地震の影響を大きく受けた閉上地区。地域住民の復興の願いが込められた仮設店舗、「閉上さいかい市場」が2月4日オープンしました。

被災によって停止していた事業の「再開」、お客様との「再会」を目指し、新たな一歩を踏み出します。



震災により犠牲になられた944名の方の御芳名を記した、慰霊碑が完成

東北地方太平洋沖地震により犠牲となった人々を偲び、震災の記憶を将来世代まで伝えていく、「東日本大震災慰霊碑」が、平成26年8月11日、日和山南側に完成しました。

慰霊碑は、震災により犠牲になられた方々が天に上っていくイメージを表すとともに、震災を克服し、復興に向けた決意を新たにす気持ちを込めて、「種の慰霊碑」から発芽した「芽生えの塔」が、この地に豊かさに戻ることを願う「豊穡の大地」から上へ上へと伸びていく様子を表現しています。



菜の花で、被災農地復興をめざす！「北釜地区菜の花プロジェクト」

津波被害を受けた名取市沿岸部の農地で菜の花を栽培することで、地域農業の再生につなげる「菜の花プロジェクト」が北釜地区の農地で進められています。

プロジェクトでは北釜地区の約30ヘクタールの農地に菜の花を植え、春には開花に合わせてミツバチを放しハチミツを集める計画です。最終的に、仙台空港周辺に立地する広大な菜の花の花畑を観光資源とし、菜種やミツバチ関連製品の商品化などで、地域の復興に役立てる計画です。



被災した海岸林を再生しよう！「名取市海岸林再生の会」の活動

名取市の海岸部の美しい景観を維持・形成する海岸（防災）林は、古くから住民により造成・維持管理され、長く地域社会と密接な関わりを持ってきました。海岸林は潮害・飛砂・風害の防備などの災害防止機能があり、農地や居住地を災害から守る機能も果たしてきました。

東北地方太平洋沖地震の津波で壊滅的被害を受けた海岸林をよみがえらせようと、平成24年3月、杉ヶ袋や北釜地区の地元農家のみなさんが結成したのが「名取市海岸林再生の会」です。活動は松林の植林活動で、東京オリンピックが開催される平成32年までに、100ヘクタールの海岸林に計50万本を植樹することを目標としています。





# 仙台湾南部海岸 (岩沼市) 岩沼海岸

納屋地区海岸 (蒲崎工区) の推移



震災前 (H22.9.29)  
阿武隈川河口付近から、名取海岸方面まで防災保安林が続いており、美しい海岸線を見る事ができました。



震災後 (H23.7.06)  
津波により、海岸堤防や海岸防災林は、壊滅的被害を受けました。



現在 (H26.11.24)  
海岸堤防や防災保安林の復旧工事が進行し、ソーラー発電施設が設置され、新たな土地活用の動きが見られます。



完成区間 (二の倉工区)



完成区間 (蒲崎工区)



# 岩沼海岸

## Hot Topics!

### 岩沼市

地域の復興の願いが込められた「いわぬま市民夏まつり」

東北地方太平洋沖地震を契機に始まった「いわぬま市民夏まつり」。  
岩沼市役所前広場及び二木大通線を会場に、自衛隊の音楽隊、岩沼音頭、市内4小中合同のソーラン節など各種団体によって盛大に行われるパレードや、工夫を凝らしたステージイベント、模擬上棟式による餅まき、地場産品市や青空テント市、ふれあい広場など、大人も子どもも楽しめる企画がいっぱい。そして、祭りの最後は、打ち上げ花火で彩ります。  
●毎年、8月下旬に開催。



「いのちを守る森の防潮堤」の考え方を取り入れた、「緑の防潮堤」岩沼海岸植樹

仙台湾南部海岸堤防の復旧工事を進める際、防災機能を高めることはもとより、自然環境や景観に配慮することは重要です。  
そこで、宮脇昭氏 (横浜国立大学 名誉教授) 提唱の「いのちを守る森の防潮堤」の考え方を取り入れ、海岸堤防の陸側に植生の基盤となる盛土を整備し、岩沼市などの関係機関・団体が主体となり、平成25年6月30日の植樹式で、シイ・タブ・カシなど広葉樹 (常緑高木) を主体に約7,000本が市民によって植樹され、「緑の防潮堤」が整備されました。

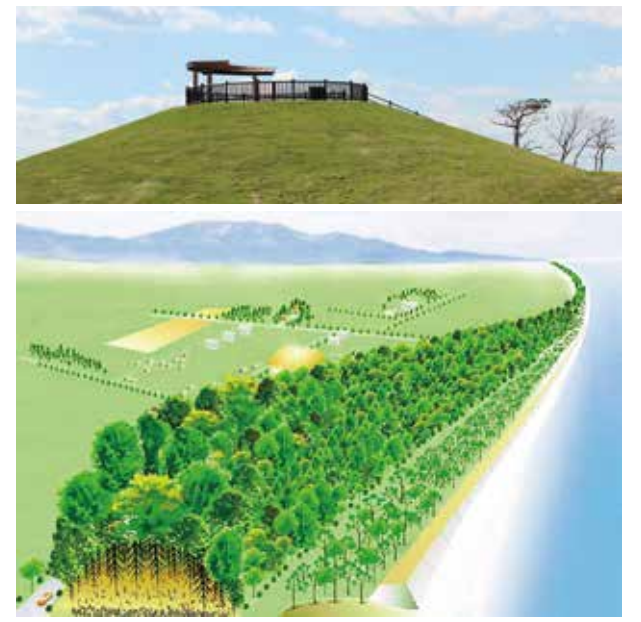


「千年希望の丘」を津波の力の減衰や避難場所として活用しながら、千年先まで人々のいのちを守ります。

## 千年希望の丘 MILLENNIUM HOPE HILLS

岩沼市では、沿岸部に多重防御の新しい社会共通基盤として、津波の力を減衰させる津波除け「千年希望の丘」を整備し、減災に取り組むとともに、後世の人々へ今回の津波被害の大きさや私たちの想いをつなぐために、「千年希望の丘」を含めたエリアをメモリアルパークとして整備する計画を進めています。

国内外からの応援寄付金を活用し、第1号の「千年希望の丘」として、モデル丘 (1基、高さ8m) 及び遊歩道 (延長3000m) が相野釜地区 (仙台空港の南東側) に整備されたほか、有識者の指導のもと市民やボランティアによる植樹も行われ、市民による防災拠点づくりが進行しています。さらに、地域の復興を願い「千年カレー」「希望カレー」などの特産品の商品開発も行い、人気を集めています。





# 山元海岸 (山元町) 山元海岸

山元地区海岸 (中浜工区) の推移



震災前 (H22.9.29)

山元海岸侵食対策のS2・S4号ヘッドランド、砂浜を回復させる養浜工が実施され、海浜が保護されていました。



震災後 (H23.3.29)

津波により、海岸線から陸地側へ大きく浸食され、防災保安林は壊滅的被害を受けました。



現在 (H26.11.24)

堤防復旧に伴い海岸線も回復し、地盤浸食の回復に伴い、今後防災保安林の復旧工事が進行する見込みです。



完成区間 (笠野工区)



完成区間 (中浜工区)



# 山元海岸

## Hot Topics!

### 商工会青年部の手作りイベント 「すきですやまもと夏まつり」

毎年、商工会青年部が一から作り上げるこのイベント。やまもとキッズ大集合、うるおいクイズ、やまもとギネスに挑戦、お楽しみ抽選会など、山元町ならではの趣向を凝らした催事が盛りだくさんで、大勢の人で賑わいます。

- 日程：例年8月下旬
- 問：巨理山元町商工会 山元事務所 TEL.0223-37-0543



### 海に舞う神輿が圧巻! 「八重垣神社夏まつり」 (お天王さんまつり)

旧暦の6月15日の前後どちらかの土日に開催。かつては仙南地方の三大夜祭りとして有名。土曜日の宵祭りには花火大会が、翌日には、神輿渡御が行われます。途中神輿をかついだまま海に入る姿は圧巻です。

- 日程：例年7月下旬
- 問：八重垣神社 TEL.0223-37-0458



### 夢いちごの郷 「ふれあい市」 であま〜い1日を!

特産品であるイチゴをメインとしたイベント。当日は、いちごの試食やいちご狩り体験(有料)が楽しめるほか、旬の野菜・地場産品の販売やお楽しみ抽選会が行われるなど、いちごの産地山元町ならではの催しです。

- 開園期間：6月中旬まで
- 問：山元町農産物直売所「夢いちごの郷」 TEL.0223-37-1115 (2月~)



## Hot Topics!

### 復興の槌音響かせ健脚競う 「わたり復興マラソン大会」

鳥の海湾をコースに行われていたマラソン大会が震災後「わたり復興マラソン大会」の名で平成24年11月11日に荒浜中学校周辺をコースにして復活。平成25年度以降は巨理と浜吉田を結ぶコースを舞台に開催しており、全国からの参加者数も毎年記録を更新するほど増え続けています。記録に挑戦し健脚を競うことはもちろん、巨理町の復興状況も自らの目で確認しながらゴールを駆け抜けると、旬の味覚「はらこめし」が待っています。



### 春を先取り 「伊達なわたりまるごとフェア」

大試食会では、いちご2000人分および波の子貝のすまし汁600人分が無料で振る舞われ大行列が会場を取り囲みます。そのほか、地元の生鮮野菜や加工品の販売、購入に応じてくじびきができるお楽しみ抽選会などが行われ、会場の体育館が熱気に満ち溢れます。毎年当日まで詳細が明かされないオープニングで披露されるアトラクションは、来場者を引きつけます。そんな盛りだくさんの内容で、ひと足早い春を感じていただけること間違い無しのお祭りです。



山元町 YAMAMOTO TOWN

巨理町 WATARI TOWN